

令和6年度 第4回経営協議会議事要旨

日 時 令和6年11月25日（月）15時00分～16時00分
場 所 本部棟2階大会議室
出席者 （学外委員）北村委員、潮谷委員、陣内委員、戸上委員、中尾委員、宮島委員
（学内委員）兒玉学長、渡委員、大島委員、山下委員、豊田委員、野口委員、石田委員
欠席者 （学外委員）菅谷委員、山口委員
陪席者 大川内監事、南谷監事、小野教育学部長、中村芸術地域デザイン学部長、羽石経済学部長、野出医学部長、佐藤理工学部長、鈴木農学部長

議事に先立ち、学長から、令和6年9月1日付で就任された監事について、紹介があった。

【 報告事項 】

- (1) 佐賀大学コスメティックサイエンス学環（仮称）の設置について
学長から、佐賀大学コスメティックサイエンス学環（仮称）の設置の趣旨、背景、社会的インパクト及び教育組織改革に係る今後の展望等についての説明があった。また、先日開催されたイベント「未来オープンデイ」についての報告があった。
- (2) 経営協議会学外委員からの意見への対応について
総務課長から、令和5年度及び令和4年度に経営協議会学外委員からいただいた大学経営に関する意見に対する本学の主な取組状況、今後の取組予定及び検証等について、報告があった。
- (3) 令和5事業年度財務諸表の承認について
財務部長から、令和5事業年度財務諸表の承認について、8月30日付で文部科学省より通知があった旨の報告があった。

【 意見交換 】

◎わが国の将来を担う国立大学の新たな将来像について

学長から、本件について、経営協議会委員の皆様から、広く御意見をいただきたい旨の発言があり、次いで、大島理事から、「佐賀大学のこれから—ビジョン2030」、第4期中期目標・中期計画、国立大学の「将来像」についての説明があり、その後、意見交換が行われた。

主な意見は下記のとおり。

○国の財政が厳しくなっており、大学も変化していく必要があるが、個々の大学教員の自立した研究支援に関してはあまり変化させずに、優秀な教員が適切に研究できるだけの環境を維持することにもっと力入れるべきである。

○寄附などの財源を獲得する努力が必要ではないか。

○佐賀大学のミッション、ビジョンに基づいて「尖がるもの」を探し、なにをどのようにして伸ばしていくか、選択をしていかないといけない。

○大学教育について、教員や大学の中で初等中等学校との縦の連携を行い、論議していくことが大事ではないか。

【 その他 】

学長から、次回の経営協議の会議開催方法についての連絡があった。

以上